



「こんにちは、母さん」

今年91歳の山田洋次監督が吉永小百合を主演に迎え、現代の東京・下町に生きる家族が織りなす人間模様を描いた人情ドラマです。山田監督が撮った吉永小百合主演の映画では「母べえ」（2008年）、「おとうと」（2010年）、「母と暮らせば」（2015年）に続く4作目です。今回の作品は劇作家・永井愛の戯曲「こんにちは、母さん」を映画化しました。息子役は大泉洋です。

大会社の人事部長である神崎昭夫（大泉洋）は、職場では常に人事をめぐって神経をすり減らし、家では妻との離婚問題や大学生の娘との関係に頭を抱える日々を送っていました。ある日、母親の福江（吉永小百合）が暮らす下町の実家を久々に訪れました。そ

こで見た母親は、いつも割烹着を着ていた姿から一変して艶やかなファッションに身を包み、恋愛までしている様子でした。実家にも自分の居場所がなく戸惑う昭夫ですが、下町の住民たちの温かさや、これまでは違う母との出会いのなかで、あらたな自分を見つけて出します。母親の福江が地域の教会のボランティア活動に参加する中で、牧師さんとの淡い恋心も。もう80歳に近い吉永小百合ですが、スクリーンを通して、こんな綺麗なおばあちゃんがいるのかと思わせてくれます。9月1日から全国上映。上映時間は110分。

いま大阪自治労連事業本部でこの映画の割引鑑賞券を取り扱っています。単組の共済担当者にお問い合わせください。

高齢になっても 母は活動的で美しく

いのちのシネマがえいが

「木へん」の漢字をあるだけ書こう」にみんなで相談



当日は37人の青年と単組役員が参加し、ミニゲームなどを楽しみました。出身単組をばらけさせた6つのグループで、始めは緊張した表情でしたが、チームワークを試されるゲームの内容に、自然と力を合わせるようになりました。時間が経つにつれてグループの結束が強まり、互いに声をかけ合い盛り上がりました。合間には、仕事や趣味の話で交流が深まり、新たなつながりができていました。

アンケートでは、参加した理由に「同期に誘われて」「コロナ禍に入庁。部署以外のつながりがなかったから」などが寄せられ、「参加しなかったら今後出会えない方たちと交流できて楽しかった」などの声がありました。今後みんなが楽しめる企画を考えて、つながりを広げていきたいです。

ようこそ 大阪自治労連へ

7月22日

4年ぶりの歓迎パーティー

職場・地域をこえたつながりに



「今日は楽しみましょう！」と盛り上げる司会の3人
左から枚方市職労・村田さん、岸和田市職労・中山さん、
貝塚市職労・七山谷（しちやまたに）さん

Culture Navi かるチャーナビ

作りませんか



にんじんしりしり

貝塚市職労 瀬戸 真一さん

協力：現業評議会・給食部会



材料（1人分）

■にんじん34.5g、ツナ油漬け8g、ごま油0.1g、調味料（淡口醤油1.8g、砂糖0.3g）

作り方

- ①にんじんは3ミリ×40ミリの千切りにする。
- ②ツナ油漬けの油をきっておく。
- ③ごま油を熱し、にんじんを炒め、ツナを加えてさらに炒める。
- ④合わせておいた調味料を加え、汁気がなくなるまで炒め煮する。



心に響く このひとこと

コピー用紙補充しながら
このままで
終わるわけにはいかぬ人生

萩原 慎一郎
（歌人 1984年～2017年）

お茶くみとは言わないまでも、資料のコピーや書類整理、シュレッダーのごみ捨てなど、雑用ばかりで、将来の展望が見えない非正規労働者。時には「非正規という受け入れがたき現状を受け入れながら生きてゆくのだ」と絶望するが、「このままで終わるわけにはいかぬ」と唇をかみしめる。32歳で自ら命を絶った歌人が、すべての非正規労働者に送ったエールが心に刺さる。（歌集「滑走路」より）

今月の 記念日

チンチン電車の日
8月22日

8月22日は「チンチン電車の日」です。1903年（明治36年）8月22日、国内ではじめてチンチン電車が走ったことから、日本の記念日とされています。日本初の走行は、東京都の新橋～品川間。正式には「路面電車」の名前がありますが、運転士から車掌への合図で鳴らすベルの音にちなんで、現代でもチンチン電車の通称で親しまれています。ちなみに、日本で初めて路面電車が走ったのは1890年（明治23年）5月4日に上野公園で開催されていた第3回 内国勸業博覧会の会場内だったそうです。